

評価対象	具体的な評価項目	アンケート結果						考察 及び 次年度に向けて	学校評議員評価 (感想・意見・評価)							
		教員	1年	2年	3年	全体	保護者									
学力の向上	1 生徒の学力向上に向け、意欲的かつ計画的にきめ細かな指導を行っているか。 生徒:学習全般に対して達成感・満足感を持っているか。 保護者:全般についての取り組みをどのように感じているか。	A	A	A	A	A	A	○学年が上がるにつれて達成感・満足感が上昇するとともに、今年度は全学年で達成感・満足感がAとなった。保護者からも引き続き良い評価を得ている。 ①生徒の学力を適切に把握し、個々に応じた指導・支援を引き続き行う。 ②今後も教科担任と学年・クラス担任が連携し、生徒を学びに向かわせる方策の工夫に努める。 ○授業内容に関しての満足度は高い。 ①アクティブ・スクールプランの成果を継承し、生徒が主体的に参加する授業づくりを推進する。 ②授業公開(研究)週間を校内研修の機会として活用するとともに、校外における教員対象の教育研究セミナー等へ積極的に参加することで、授業力の向上を図る。 ○学年が上がるにつれて評価が上がるるとともに、今年度は1年生で昨年度より評価が向上した。 ①「自主学習の記録」を活用し、面談等を通して個に応じた指導・支援を引き続き行う。 ②各種試験の成績データを有効に活用し、生徒が計画的な家庭学習に主体的に取り組むよう指導・支援する。 ○概ね高い評価となっているが、「わからない」と解答した保護者が一定数見受けられる。 ①類型コースや習熟度別授業が、効果的に生徒の学力を向上させているか検証し、各検討委員会や教科で、教材、授業形態、進捗等を引き続き検討していく。 ②学校HP等を活用して、本校の取り組みに関する情報発信に努める。 ○生徒と保護者の満足度はまずまずである。生徒において若干満足度が減少し、保護者の満足度はほぼ横這いである。 ①長期休業中の課外や土曜講座について進路通信「崖響」などで取り上げ、積極的に情報発信していく。 ②各教科講座内容を検討し、より充実したものになるよう、引き続き努力していく。	a	b	b	a	b	a		
		a	b	b	b	b	a									
	2 生徒の興味・関心・意欲を喚起しながら、学力の定着に向け、様々な工夫をした授業を心がけているか。 生徒・保護者:全体として、授業内容に満足しているか。	A	A	A	A	A	A		○自主学習の記録について個人面談に活かすなど生徒とのコミュニケーションの道具としてよい。 ○学力の向上について生徒の学習レベルに応じたきめ細かな対応を継続してほしい。	a	a	a	a	a	a	
		a	a	a	a	a	a									
	3 生徒の家庭学習時間が増え、定着するよう工夫した指導を実践しているか。 生徒・保護者:計画的な家庭学習ができていますか。	A	B	B	A	B	B		○土曜講座について生徒が意欲的に参加できるよう内容の工夫に努めてほしい。	a	c	b	a	b	b	
		a	c	b	a	b	b									
	4 生徒の実態や課題に応じて、学力を向上させるために、積極的に取り組んでいるか。 生徒:生徒の実態に応じて学力を向上させる取り組みに満足しているか。 保護者:効果的な取り組みを行っているか	A	A	A	A	A	B		○土曜講座について生徒が意欲的に参加できるよう内容の工夫に努めてほしい。	a	a	a	a	a	a	
		a	a	a	a	a	a									
	5 長期休業中の課外や土曜講座の成果が上がるよう、様々な工夫をして取り組んでいるか。 生徒:全体的に満足しているか。 保護者:効果があるか。	A	A	A	A	A	A		○土曜講座について生徒が意欲的に参加できるよう内容の工夫に努めてほしい。	a	a	a	a	a	a	
		a	a	a	a	a	a									
	進路指導の充実	6 生徒の適性や希望などを十分に把握しながら、適切な進路指導を実践しているか。 生徒・保護者:主体的な進路選択をする上で、本校の進路に関する援助に満足しているか。	A	A	A	A	A		A	○生徒の評価、保護者の評価ともにまずまずの状況である。保護者の評価については昨年度よりも「わからない」の割合が減少した分によって「満足」の評価が微増し、A評価となった。一方で「不満」の部分も増加しているので注意が必要である。 ①進路通信「崖響」や学年通信などで引き続き進路指導の取り組みを積極的に知らせる。 ②生徒の適切な進路選択と学習意欲の向上に向けて進路指導の内容をさらに充実させていく。	a	a	a	a	a	b
			a	a	a	a	a		b							
a			a	a	a	a	b									
教科外教育活動の活発化	7 部活動を通じた人づくりにむけ、積極的な指導を実践しているか。 生徒:部・同好会活動について、積極的に参加しているか。 保護者:部活動・同好会に対する学校の取り組みをどう思うか。	A	A	B	B	B	A	○2学年・3学年ではB評価となっており、学年が上がるにつれ活動意欲が低下する傾向が顕著である。 ①生徒主体の自治的・自立的な活動を促すとともに、本校の今後の部活動について生徒と共に検討していく。 ②保護者や地域の方々へ活動状況等を学校HP等を通して積極的に発信し、支援と理解を得る取り組みをさらに進めていくよう努める。 ○昨年度に引き続き、保護者・生徒ともに満足度は高い。足高祭をはじめとして、本校生徒の行事への取り組み姿勢が高い評価を得ている。 ①生徒が主体的に参加・運営できる体制を継続・進化させ、学校行事のさらなる充実を図る。 ②保護者や地域の方々へ学校HPを通して、行事のPRと事後報告の積極的発信を継続する。	a	a	b	b	b	a		
		a	a	a	b	b	a									
	8 生徒が学校行事や生徒会行事には積極的に参加し、充実感を友人とともに共有できるよう積極的に指導しているか。 生徒:満足しているか。 保護者:子息の満足度はどうか。	A	A	A	A	A	A		○いじめや情報モラルへの対応について生徒の実態把握に努め、教員間の情報共有や教育相談の充実など、いじめ等について見逃さない体制づくりが必要である。	a	a	a	a	a	a	
		a	a	a	a	a	a									
	連携教育相談生徒指導	9 生徒が相談しやすい雰囲気作りができていますか。 生徒:相談しやすい雰囲気があるか。	/	A	A	A	A		/	○高い評価であるが、保護者に指導内容が周知されていない。 ①マナー・規範意識の向上のために保護者・職員が連携して交通街頭指導や情報モラル講習会等の学校行事に取り組み、マナー・規範意識の向上を図る。 ②HPや学年通信等を活用して情報提供を図る。 ○保護者・教員共に高い評価である。HPや学年・学級通信等で家庭への情報提供をこまめに行い、欠席連絡等の電話連絡の際にも可能な限り直接話そう努めている。 ①HPのさらなる充実により学校行事等に関する情報提供を心掛け、学校の現状を知らせよう努めていく。 ②学校からの配布物が生徒を通して確実に保護者に届くような指導に努める。	/	a	a	a	a	/
			/	a	a	a	a		/							
10 マナーや規範意識を育む指導ができていますか。		/	/	/	/	/	A	○学習環境について冬場のストーブ使用について柔軟な対応をお願いしたい。	/		/	/	/	/	A	
/	/	/	/	/	/	a	○学習環境について冬場のストーブ使用について柔軟な対応をお願いしたい。		/	/	/	/	/	a		
11 保護者との連携に努めているか。 保護者:教職員との連携に満足しているか。	A	/	/	/	/	A		○保護者・教員共に高い評価である。HPや学年・学級通信等で家庭への情報提供をこまめに行い、欠席連絡等の電話連絡の際にも可能な限り直接話そう努めている。 ①HPのさらなる充実により学校行事等に関する情報提供を心掛け、学校の現状を知らせよう努めていく。 ②学校からの配布物が生徒を通して確実に保護者に届くような指導に努める。	a	/	/	/	/	a		
	a	/	/	/	/	a	○保護者・教員共に高い評価である。HPや学年・学級通信等で家庭への情報提供をこまめに行い、欠席連絡等の電話連絡の際にも可能な限り直接話そう努めている。 ①HPのさらなる充実により学校行事等に関する情報提供を心掛け、学校の現状を知らせよう努めていく。 ②学校からの配布物が生徒を通して確実に保護者に届くような指導に努める。		a	/	/	/	/	a		
総括的評価	12 生徒が充実した学校生活を送れるよう、適切な指導・援助を実践しているか。 生徒:現在の足高での学校生活に満足しているか。 保護者:本校に入学させて良かったと思っているか。	A	A	A	A	A		A	○生徒・保護者からの満足度は高く、本校の教育活動について肯定的な評価を得ている。 ①生徒の学力向上に努め、一人一人の進路希望を実現するために、なお一層の指導体制の充実を図る。 ②本校の教育活動に対する理解を得るために、保護者や地域の方々へ適切に情報を発信していく。	a	a	a	a	a	a	
		a	a	a	a	a	a									
		a	a	a	a	a	a									

評価基準	生徒・保護者 アンケートの①②合計の回答率	教員 アンケートの①②合計の回答率	*アンケート結果のアルファベットは次の通り。
	70%以上 A (十分に成果があった)	80%以上 A (十分努力している)	上段:令和元年度(大文字)
	50%以上70%未満 B (成果があった)	60%以上80%未満 B (努力している)	中段:平成30年度(小文字)
	30%以上50%未満 C (少し成果があった)	40%以上60%未満 C (あまり努力していない)	下段:平成29年度(小文字)
	30%未満 D (成果がなかった)	40%未満 D (努力していない)	